

問1 2020年の世界における農産物の生産量において、中国が約42%、インドが約20%を占め、これら2か国で全体の約6割に達している作物は次のうちどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 茶 2. 米 3. 小麦 4. 綿花

問2 ある統計資料において、2001年と比較した対日輸出額の増加比率が10倍を超え、進出した日本企業数も500社以上増加していることが示されたASEAN加盟国がある。この国の現在の様子を説明したものとして正しいものはどれか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 首都ハノイの近郊には日系の自動車工場があり、南部最大の都市であるホーチミンでは日系のコンビニエンスストアが増加している。  
2. 首都バンコクを中心に自動車の生産が盛んで、古くから「東洋のデトロイト」と呼ばれ日本企業が集中している。  
3. 世界最大の島嶼国（とうしょこく）として知られ、ジャカルタなどの大都市周辺で天然ガスの採掘と日本への輸出が経済を支えている。  
4. 内陸国としての地理的条件を活かし、中国との鉄道網整備を優先しているため、日本企業の進出数はASEANの中で最も少ない。

問3 ある南アジアの島国における輸出統計では、繊維製品や船舶類と並んで紅茶（茶）が大きな割合を占めています。この国の文化や産業の背景について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

1. イギリスの植民地時代にプランテーションが作られた影響で、茶の栽培が盛んになった。  
2. 住民の約7割がイスラム教徒であり、西アジア諸国との経済的な結びつきが非常に強い。  
3. 豊富な原油や天然ガスを輸出の柱としており、南アジア最大の資源産出国である。  
4. 広大な平原を利用した小麦の企業的牧畜が盛んで、乾燥した気候に適した産業が発達している。

問4 ベトナムにおいて、2000年代初頭からの十数年間で機械類の輸出シェアが爆発的に拡大し、国の経済を支える最大の項目へと成長した背景として、最も適切な説明を選んでください。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため  
2. ASEAN（東南アジア諸国連合）を脱退し、周辺国との関税を高く設定することで国内産業を保護したため  
3. 石炭や鉄鉱石などの豊富な鉱物資源をそのまま輸出するモノカルチャー経済を強化したため  
4. 米の生産を大幅に削減し、すべての水田をスマートフォン工場へと転換する強硬な政策をとったため

問5 中東・西アジア地域の地理的特徴に関する説明として、アラビア半島の北東に位置するイランの説明としてふさわしいものはどれですか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

1. イスラム教徒の割合が極めて高く、ペルシャ湾の北側に位置している。  
2. ナイル川の下流に位置し、古代文明が栄えたアフリカの国である。  
3. アフリカ大陸で最も人口が多く、ギニア湾に面している。  
4. 世界最大のイスラム教徒人口を抱える、東南アジアの島国である。

問6 アジア州において、米や茶、天然ゴムといった特定の農産物の生産割合が世界全体の過半数を超え、圧倒的なシェアを誇っている主な要因について、自然環境の観点から説明したものとして適切なものはどれですか。（2025年 秋田公立入試 類似）

1. 季節風（モンスーン）の影響により、夏に高温多湿となる地域が広く分布しているため  
2. 広大な乾燥帯が広がり、日照時間が極めて長く灌漑農業に適しているため  
3. 偏西風と暖流の影響により、年間を通じて温暖で降水量が一定であるため  
4. 永久凍土が広がる寒冷な気候により、病害虫の発生が抑えられているため

問7 中国の長江下流域から沿岸部にかけて広がる華中地域では、その自然環境を活かした食文化が発達しています。この地域の食文化の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 降水量が少なく乾燥した平原で栽培される小麦を原料とした、麺類やギョーザなどの粉もの料理が中心である。  
2. 長江などの大河川からもたらされる水資源を利用して生産された米や、豊富な魚介類を使った八宝菜などの炒め物料理が代表的である。  
3. 起伏の激しい高原地帯で行われる放牧によって得られる、羊の肉や乳製品を用いた料理が日常的に食べられている。  
4. 内陸の盆地特有の湿気を払うために、唐辛子や山椒などの香辛料を多用した刺激の強い味付けの料理が発展している。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 茶	茶は中国やインド、ケニア、スリランカなど、主にアジアやアフリカの国々で多く栽培されています。特に上位2か国である中国とインドの影響力が極めて大きく、この2か国だけで世界の生産量の過半数を占めているのが大きな特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 首都ハノイの近郊には日系の自動車工場があり、南部最大の都市であるホーチミンでは日系のコンビニエンスストアが増加している。	2000年代以降、ベトナムは対日輸出額や進出企業数が激増しており、ASEAN諸国の中でも特に日本との経済的連携が強まっています。2021年には日本への輸出額が約3兆円、進出企業数が1000社を超えるなど、製造業からサービス業まで幅広い分野で日本企業が関わっています。北部のハノイ周辺には製造拠点が、南部のホーチミンには消費市場としての魅力から小売業が集まるという地域的特徴があります。バンコクはタイ、ジャカルタはインドネシア、内陸国はラオスの説明です。
問3	<b>答え 1</b> イギリスの植民地時代にプランテーションが作られた影響で、茶の栽培が盛んになった。	スリランカの産業構造の背景を問う問題です。スリランカはかつてセイロンと呼ばれたイギリスの植民地であり、その時代に大規模な茶（紅茶）のプランテーションが開発されました。宗教については、ヒンドゥー教やイスラム教徒も存在しますが、多数派（約7割）は仏教徒です。乾燥した大陸的な気候ではなく、熱帯の島国であるため、小麦の企業的牧畜などは適していません。
問4	<b>答え 1</b> ドイモイ（刷新）と呼ばれる政策によって市場経済が導入され、外国資本の受け入れが進んだため	ベトナムは1986年から「ドイモイ（刷新）」政策を推進し、社会主義の枠組みを維持しながらも市場経済を導入しました。これにより日本や韓国などの外資系企業による直接投資が活発化し、電気機器や精密機械の組み立て拠点が形成されたことが、輸出額の大幅な増加につながりました。
問5	<b>答え 1</b> イスラム教徒の割合が極めて高く、ペルシャ湾の北側に位置している。	イランは西アジアに位置し、地理的にはアラビア半島の北東、ペルシャ湾の北岸に面しています。宗教的にはイスラム教が強く信仰されています。他の選択肢は、それぞれエジプト、ナイジェリア、インドネシアの特徴を説明したものであり、地域や位置関係が異なります。
問6	<b>答え 1</b> 季節風（モンスーン）の影響により、夏に高温多湿となる地域が広く分布しているため	アジア州、特に東アジア・東南アジア・南アジアでは、季節風の影響で夏に大量の降水があります。この気候特性は、生育期に高温と多量の水を必要とする米の栽培に最適です。また、天然ゴムは東南アジアの熱帯気候を、茶は温暖な傾斜地を利用して生産されており、それぞれの地域の自然条件を活かした産業構造が、世界的な高い生産シェアの背景にあります。
問7	<b>答え 2</b> 長江などの大河川からもたらされる水資源を利用して生産された米や、豊富な魚介類を使った八宝菜などの炒め物料理が代表的である。	長江の下流域を中心とした華中地域は、温暖湿潤な気候と豊富な水資源に恵まれています。この環境を利用して稲作（米の生産）や淡水魚の漁業が盛んに行われてきたため、米を主食とし、魚介類や農産物を具材とした八宝菜のような炒め物料理が独自の食文化として定着しました。小麦中心の華北や、羊肉を用いる内陸部、香辛料を多用する四川盆地などとは異なる特色を持っています。